

実践から学び、考える

コミュニティワーク研究会

サロンや見守り等の小地域福祉活動、ボランティアグループや当事者団体の組織化、福祉教育、ソーシャルアクション…。社協の地域福祉活動であるコミュニティワークの展開や仕掛けには、様々な方法や切り口があり、地域によってもその取り組みは様々です。

同じ社協ワーカーの実践や思い、また悩みに触れることで、考えさせられること、学ぶことが多くあるものです。この研修では社協ワーカーの実践報告を通し、社協・コミュニティワークを高めていきたいと考えています。

■と き 下記の通り（時間はいずれも 14:00～17:00）※受付は 13:30～

■会 場 クローバープラザ（〒816-0804 春日市原町3丁目1番7号）

※11月24日（土）のみ「小郡市総合保健福祉センターあすてらす」で行います。

■参加費 無料

■対象者 社会福祉協議会の地域福祉担当職員、研究者等

■内 容／



NO	と き	実践報告の内容
1	7月21日（土）	〔内容〕 支え合いマップづくりから学ぶ地域福祉活動 ●発表者：松尾大輔さん／直方市社会福祉協議会
2	9月22日（土）	〔内容〕 小地域福祉活動を通して ●発表者：宿利幸央さん／志免町社会福祉協議会
3	11月24日（土）	〔内容〕 久山町社協の子どもの福祉について ●発表者：藤野圭亮さん／久山町社会福祉協議会
4	1月27日（日）	〔内容〕 当事者団体の組織化に対する思いと今後の課題 ●発表者：建部正雄さん／香春町社会福祉協議会

■タイムスケジュール／

14:00	14:10	14:50	15:10	16:10	16:30	16:40	17:00
開会	実践報告と 課題提起	質疑 応答	グループワーク 意見交換	報告	実践報告者の コメント	コメンテーターに よるコメント	終 了

■コメンテーター／村山浩一郎先生

公立大学法人 福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科准教授。主な研究テーマは、地域福祉を推進するための様々な実践や方法についての研究。

氏は地域福祉を「児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野ではなく、地域住民が主体となり、行政や専門職と協働しながら、援助を必要とする人を地域で支えたり、地域の共通課題の解決に取り組んだりする、地域を基盤とした福祉実践」と捉えており、具体的には、住民による小地域福祉活動、福祉NPO、コミュニティワーク、地域福祉計画など、地域福祉を推進するための住民活動、援助技術、計画・政策などについて研究を行っておられます。

今回の研修では、4回全てにご出席いただき、助言をいただきます。

■主催／福岡県地域福祉活動職員連絡会 (Mail) f_chishokuren@yahoo.co.jp)

■申込み・問合せ／筑後市社会福祉協議会 (〒833-0032 福岡県筑後市野町 680-1)

TEL (0942) 52-3969 FAX (0942) 53-6677

Mail urabe@chikugo-shakyo.or.jp

「実践から学び考えるコミュニティワーク研究会」参加申込み書

社協名			
住 所			
電話番号		FAX 番号	

	氏 名	性別	経験年数	担当役職
例	地職連 太郎	男	5年	地域福祉活動
1				
2				
3				

0942(53)6677(筑後市社協)にFAXでお申し込みください。

※送付文書は必要ありません。